## 中学生でも解ける東大大学院入試問題 (144)

2015-03-19 12:34:28

こんにちは。東久留米市の学習塾塾長です。

曇っていますが気温は13℃と暖かく、来週には桜も開花するようです。良い季節の到来です。

さて、今回は平成22年度東大大学院工学系システム創成学の入試問題です。

## 問題は、

「ある町でタクシーが事故を起こした。町にはA社とB社の二つのタクシー会社がある。シェアはそれぞれ 25% であり、1台あたりの事故発生確率は等しい。町には正直者と嘘つきの二種類の人がいて、正直者は常に自分が正しいと思っていることを、嘘つきは常に自分が正しいと思っていることの逆をいう。正直者と嘘つきの割合はそれぞれ 70% と30% である。一人の目撃者は A社のタクシーが事故を起こしたと証言した。人が正しくタクシー会社を認識する確率を 80% とすると、この証言のもとで A社のタクシーが事故を起した確率はいくらか。」です。

いろいろ条件が書いてあって長い問題文です。こんなときは書いてある条件を表にすると良いでしょう。



▲表. 各条件とその確率を表にしました

## 

(クリックすると大きくなります)

この表の右端列にある確率は、各項目のそれぞれの確率を掛け合わせて求めます。例えば、一番上の、事故を起こしたタクシー会社が $\Lambda$ 社で、正しく認識して、目撃者が正直者である確率は、それぞれ、25/100、8/10、7/10なので、それらの事象がすべて起こる確率は、

2 5/1 0 0×8/1 0×7/1 0 = 1 4 0 0/1 0 0 0 0 となります。

この表ができてしまえば答えがでたようなものです。

まず証言が A 社 となっている確率を足し合わせると、 1 4 0 0/1 0 0 0 0 + 1 5 0/1 0 0 0 0 + 1 8 0 0/1 0 0 0 0 + 1 0 5 0/1 0 0 0 0 = 4 4 0 0/1 0 0 0 0 です。

次に事故を起こしたタクシー会社が A 社で、かつ、証言が A 社となっている確率を足し合わせると、 1 4 0 0 / 1 0 0 0 0 + 1 5 0 / 1 0 0 0 0 = 1 5 5 0 / 1 0 0 0 0 です。

したがって、問題にある、この証言のもとでA社がタクシー事故を起こした確率は、1550/10000÷4400/10000=1550/4400=31/88 となり、これが答えです。

この問題のように一見複雑に見えるものも図表を使えば明快になります。大いに図表を活用しましょう。

東久留米の学習塾 学研CAIスクール 東久留米滝山校

http://caitakiyama.jimdo.com/

TEL 042-472-5533